令和5年3月 自己評価結果(ドットジュニア 浜野 第2教室(児童発達支援・放課後等デイサービス))

厚生労働省が定める「放課後等デイサービスガイドライン」に基づいて定期的に自己評価を実施しています。 この自己評価結果、また保護者様からいただいたご意見・ご要望をもとに、業務・サービスの改善をしていくことを目的としています。

	評価項目	利用保護者様からのご意見、ご感想 <アンケート調査: R5/11/16~R5/11/26>	事業所の取り組み状況改善の方針等 <職員アンケート及び検討: R5/12/1~R6/1/31>
環境・体制整備	訓練室等の適切なスペースの確保	・教室の学習設備、広さなど活気的になったら楽し そうです。	・設備に関しまして、お子様たちが活動しやすいように今後も配 慮しながら運営してまいります。
	職員の配置状況		
	事業所内の安全対策		
	環境設備の衛生管理		
業務改善	業務改善を進めるための PDCA サイクル	・ハグのアプリが出来ると便利になると思います。 連絡が取りやすくなることを期待したいです。	・どこまで実現できるかは未定ですが皆様のご意見も含めHUGに 改善希望を出しております。
	職員の資質の向上、研修の機会の確保		
	運営支援システムHUGの運用		
適切な支援の提供	適切なアセスメントの実施		・引き続き、お子様が楽しみながら、参加できるプログラムを考 案してまいります。
	ニーズや課題の客観的な分析、個別支援 計画の作成		
	適切な活動プログラムの立案		
	支援開始前の支援内容や役割分担の確認		
	支援終了後の振り返り		
	適切なモニタリングの実施		
	各種記録の正しい作成、保管		

関係機関や保護者との連携	サービス担当者会議の実施 学校との情報共有、連絡調整 子どもの発達状況や課題の共通理解 相談に対する必要な助言と支援 学校卒業時に他の障害福祉サービス移行 等のサポート 事業所外の専門機関等との連携 ペアレント・トレーニング等の支援	・職員の方と話す時間をもう少し作ってほしいです。 ・学校や学童など、外部との連携が足りていないと 感じることがある。	・送迎時の他、モニタリングや日々のご連絡の中で、保護者の皆様とやり取りができる機会を確保していきたいと思います。 ・相談支援をはじめ、学校や幼稚園、保育園など関係機関との必要な情報共有に努めてまいります。
者への説っ	契約時の丁寧な説明(支援の内容、利用者負担額等) 苦情対応の体制整備、発生した場合の迅速かつ適切な対応 会報の発行等の事業所の情報発信 個人情報の適切な取り扱い 子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮	・事業所の取り組みに対する説明が不足していると 感じることがあります。	・実施する内容や、目的・ねらいその他留意点など、ご納得いた だける形でご説明していくことのできるようにしてまいります。
非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアルの策定 緊急時対応の保護者への周知 定期的な避難訓練等の実施 虐待防止、身体拘束についての職員研修 の実施 ヒヤリハット事例の事業所内共有	・自宅送りが安心で助かっています。	・全てのお子様について、アレルギーの有無を確認し、該当物質の摂取や接触がないよう留意しております。 ・ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハットの報告書を 作成・保管し、職員間で共有しています。
満足度	子どもが通所を楽しみにしているか 現状抱える不安や悩み 通所を開始して良かったこと 今後期待したいこと	・子供の楽しみが1つ増えた感じでかがやきに通うのをとても喜んでいます。 ・幼稚園では出来ないこと自宅では出来ないことを沢山して刺激を沢山もらえています。 ・長時間、母と離れる事に慣れ帰って来てからも自分時間をしっかり過ごすことができるようになっています。 ・全体的に成長を感じれてます。 ・安心して通わせられます。 ・年々成長してきてると思う。家では見ることができない気遣いや優しさがあるようでいろんな年齢の子と付き合う機会もあり良かったと思います。 ・楽しい雰囲気を作ってくださるので、発語が増えました。 ・子どもがいろいろなことに興味を持ち、好きなことに取り組んでいます。	・通所されて良かった、安心できるという意見が私たちの励みで す。より一層良い支援をお届けできるようにしていきます。